



平成27年度体育祭について

昨年と同じく、悪天候により一日遅れとなった本年度の体育祭ではありましたが、次第に晴れ間が増え、絶好の日和となりました。シルバーウィーク前に体育祭が実施でき、ほっとしているところです。と同時に、今年の体育祭においても、はつらつと競技した生徒の姿が心に残っています。そのいくつかを綴ってみます。



○ 素晴らしかった生徒

本校の体育祭は、以下のことを目的として実施いたしました。

- (1) 学級などでの取り組みを通して、仲間を認め励まし合い、連帯感を高める。(和)
- (2) 各担当の仕事を通して、行事の運営に関わり、協力する大切さを学ぶ。(学)
- (3) 日頃の学習の成果を発揮し、やり抜く心や体を育む。(鍛)

こうした目的の中でも、(1)の「仲間との連帯感」こそが、体育祭において生徒たちが意義を感じるものと思われまます。このことを生徒たちは、整然とした仲間への応援で見せてくれたように感じました。

これまででは、とかく応援の熱が上がってくると、持ち場を離れたり、ルールがないがしろになったりして、クラスが入り乱れるなど応援の様子がルーズになりがちでした。しかし、今年は、どの学年もクラス単位でよくまとまり仲間を熱く応援していました。これは、当たり前のように思われることかもしれませんが、1学期からのクラスにおける仲間づくりの成果と捉えることができます。



また、(2)の「協力する大切さ」については、大会の運営にその成果を見ることができます。具体的には、プログラムが昨年度と同様であるにもかかわらず、午前中のスケジュールが予定よりも30分以上短縮されたことにあります。生徒数が昨年度より20名ほど増加している中で、こうしたことが実現できたのは、生徒たちがよく協力し、運営がスムーズだったことに他ありません。

さらに、(3)の「やり抜く心や体」についても、印象に残る姿がありました。例えば、大縄跳びでの仲間と励まし合いながら時間の限り何度もチャレンジする姿、800m走での最後まで自分の力を出し切ろうとする姿などからは、”燃え尽きるまで戦え！～smile魂みせてやれ！～”という大会スローガンを体現しているように感じました。



そして今年も、生徒会執行部は、大会を盛り上げるため様々な工夫を凝らした開会セレモニーを企画してくれました。また、開会式・閉会式における仲間を激励し、その努力を讃える挨拶はとても感動的であり、体育祭を成功させようとする意気込みが伝わってきました。

○ 保護者・地域の方々への感謝

体育祭の成功は、生徒たちの努力が実を結んだ結果ではありますが、保護者・地域の皆様からの支援も大きかったと思います。

その一つとして、本年度はPTAと同窓会から数張のテントを購入していただいたことがあげられます。これにより、すべての生徒が余裕を持ってテント下で待機できるようになり、整然とした応援にも生かされました。加えて、最新のテントは、設営が簡単で、生徒の準備作業中の安全にも大きな効果がありました。深く感謝いたします。



そして何よりも、当日、保護者や来賓・地域の方々がたくさんご参観いただき、大きな声援を送っていただいたことが、生徒たちの大きな励ましとなりました。

次年度も、生徒たちの健全な成長をご覧になっていただけるよう精一杯取り組んでいきますので、今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。

